

□議員名：岡山 明

1 たばこ対策について

論点	子どもや健康に問題がある者が定期的に利用する施設。原則、敷地内禁煙となっているが、図書館はまだである。市の対応はどうか。
回答	受動喫煙防止等、いろいろな観点から敷地内禁煙が望ましいと考えている。その趣旨、その必要性を十分認識して対応するようにということをして全ての教育施設にはお願いしている。

論点	やむを得ず屋内に喫煙場所を設置する場合は、完全空間分煙（喫煙場所を間仕切り等区分）し、換気扇を設置することとあるが。
回答	屋内にて喫煙可能な場所は16か所あり、きらら交流館等、多数の人が来られるような所では、間仕切りがちゃんとあるのが望ましいと考えている。また、宿泊施設でもあり夜間における安全上の問題点等を考慮し、対応を考えたい。

2 市立及び学校図書館の環境整備、読書推進状況はどうか。

論点	市立及び学校図書館の予算の配分はどうか。
回答	市立図書館は、合併直後は約1,400万程度あり、その後、6,700万円で推移、26年度は1,000万円台に上がった。学校図書館の関係については、22年度からは450から600万円前後を推移しており、まずは合併前の状況にまで取り組みたい。

論点	第2次子ども読書推進計画等、取り組み結果を評価するシステムはあるのか。それに対する改善策、方法はどうか。
回答	読書活動推進プログラムの評価手法については、汎用性が高いという新しいプログラムの開発で、多くの学校において活用が期待される。この読書通帳運用に伴うシステムの運用に対し、多額の費用をかけての導入について、今のところ前向きな計画はない。